

福岡県 JMAT 災害時医療救護訓練について

2014年1月15日

福岡県医師会

記

【日時】 平成26年1月19日(日) 午前9時～午後5時

【対象】

災害医療に関心のある医師、看護師を含む全ての医療職種
特に福岡県医師会大規模災害時医療救護班名簿に登録されているコメディカル

【趣旨】

南海トラフ巨大地震で甚大な被害が予想される南九州沿岸部に対して、福岡県医師会が医師会医療チーム JMAT(Japan Medical Association Team)によって、どのような支援が可能であるか、検証するためのワークショップを行う。全国初の試みである。

【目的】

1. 参加者は南海トラフ巨大地震の被害想定を理解する
2. 甚大な被害が予想される地域に対して、過酷な状況で医療を含めた包括的な支援を行うために必要な知識を習得する
3. 行政機関、自衛隊、JAXA 宇宙航空研究開発機構等の関係機関との連携を強化する

【本研修会の特徴】

1. 南海トラフ巨大地震そして津波により甚大な被害が予想され、かつ地理的な条件により支援が困難であると予想される宮崎県延岡市(人口128,187名、推定人的被害 死者880—8400名)に対して、福岡県医師会が編成する JMAT 福岡の災害支援活動をシミュレーションする。
2. 自衛隊、JAXA 宇宙航空研究開発機構からの協力に基づいて研修を行う。自衛隊の災害支援のノウハウを学とともに、JAXA 宇宙航空研究開発機構の衛星写真を災害急性期に積極的に運用する。

JMAT とは日本医師会により組織される災害医療チーム、およびその枠組みであり、東日本大震災における医療支援活動で重要な役割を果たした。JMAT は DMAT を引き継いで、避難所・救護所における医療を担当することを主たる役割とし、また、被災地域の病院、診療所の診療への支援も、重要な役割の一つであった。